

平成30年度 多治見市美濃焼産業観光振興補助金交付決定額

申請者名及び（事業名）	事業の種別（要綱該当項目）	事業概要	得点順位	※得点率	交付決定額 ※千円未満は切捨
株式会社丸朝製陶所 代表取締役社長 松原圭士郎 (GITEX出展による販路拡大)	要綱第3条(4) 見本市等出展事業	従来からある海外向け商品や新規で獲得した海外顧客は好調であり、大きく海外へ販路を拡大したい。(アラブ首長国連邦) GITEX Technology Week 2018は最も大きな産業関係の展示会で、展示会でも使用されるアラビックコーヒーのカップを新たに製作しPRする。	1	100%	671,000
株式会社センチュリー 代表取締役社長 高木正 (国際ホテル・レストランショー出展による販路拡大)	要綱第3条(4) 見本市等出展事業	2020年の東京オリンピックに向けて都市部に建設されるホテルに対して、美濃焼製品のPRと販路を拡大したい。 これまでの当社の装飾感覚、デザインセンスを融合し、斬新な美濃焼や特殊な発色表現が可能なオーガニック転写により素材別統一デザインブランディングをPRします。	2	100%	627,000
株式会社 カネキ製陶所 代表取締役社長 宮川憲市 (会社・工場案内用説明動画の製作)	要綱第3条(3) オープンファクトリー整備事業 該当	工場見学のお客様に最初に見ていただくDVDを制作するもの。(外国人対応もできる様英語字幕等検討) カネキ製陶所として美濃焼タイル及び当社への理解を深めていただくため工場見学を積極的に受け入れている。特定の顧客だけではなく一般や学校の受け入れ、旅行会社のイベント参加等を行い工場を実際に見ていただくことにより美濃焼タイルにより興味を持っていただく努力している。この活動により将来的にタイルの需要増加に期待する。	3	75%	375,000
株式会社幸兵衛窯 代表取締役 加藤亮太郎 (当窯オリジナルの技法「青釉(ペルシアンブルー)」を中心とした全国各地の焼物市への出展による販路開拓事業)	要綱第3条(4) 見本市等出展事業	幸兵衛窯のオリジナル技法「青釉(ペルシアンブルー)」=「幸兵衛ブルー」と云われるくらいまで浸透させるため、全国各地で開催される焼物市に出展し作品紹介・販売を介して、最終的には多治見市へお越しいただき、地域観光・飲食・宿泊等、地域活性化に貢献したい。 今回は、名古屋、宮城、金沢、北九州、大阪、岡山、神戸の7か所へ出展する。	4	75%	750,000
光陽陶器株式会社 代表取締役 伊藤威一郎 (東京インターナショナルギフトショー出展)	要綱第3条(4) 見本市等出展事業	美濃焼陶磁器の販路開拓のため、東京インターナショナルギフトショーに出展し、美濃焼産業と消費地のお客様とのつながりを作り、美濃焼陶磁器を宣伝、販売する。	5	75%	222,000
合計					2,645,000

※得点率：得点の割合(%)【合計点数÷500点(満点)×100】に応じて以下のとおり

得点の割合が75%以上	得点率100%
得点の割合が60%以上75%未満	得点率75%
得点の割合が60%未満	得点率0%

補助金の交付額は、得点率を補助申請額に乗じて得た額。

(多治見市美濃焼産業観光振興補助金交付要綱第11条第1項)